

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」

早期教育プロジェクト2024 in 浜松

ピアノ部門

2025年2月8日 [土] 9:55開講 アクトシティ浜松 音楽工房ホール

講師 伊藤 恵 (東京藝術大学音楽学部 教授)

- 10:00 受講生① (小4) バッハ：6つの小前奏曲より 第5番 BWV937
リスト：《2つの演奏会用練習曲》第2曲〈小人の踊り〉
- 10:40 受講生② (小5) バッハ：パルティータ 第1番 BWV825より プレリュード、サラバンド
ショパン：ワルツ 第5番 変イ長調 Op. 42
- 11:20 受講生③ (小5) バッハ：パルティータ 第1番 BWV825より
プレリュード、アルマンド、サラバンド、メヌエット、ジーク
- * * *
- 12:40 受講生④ (小6) バッハ：インヴェンション 第2番 BWV773
プロコフィエフ：つかの間の幻影 Op. 22 第1・4・8・15曲
- 13:20 受講生⑤ (小6) ショパン：ポロネーズ 第14番 嬰ト短調
ショパン：練習曲 変ト長調 Op.10-5
- 14:00 受講生⑥ (中2) ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第18番 変ホ長調 Op.31-3 第1楽章
- * * *
- 14:55 受講生による発表会
- 16:00 藝大生による演奏披露 ピアノ：本堂 竣哉 (東京藝術大学4年)
- バッハ：パルティータ 第1番 変ロ長調 BWV825
ベルク：ピアノ・ソナタ Op. 1
武満 徹：閉じた眼II
- 16:30 講評・質問タイム

※公開レッスンを受講するお子様 (小・中学生) のプライバシー保護の観点より、
関係者 (保護者・取材) および本学公式スタッフ以外の会場内での録音・録画および写真撮影は、固くお断りいたします。

早期教育プロジェクト2024 in 浜松

藝大と地域とが協働して取り組む、逸材発掘プロジェクト。2014年度に文部科学省国立大学機能強化事業の一環として始まり、藝大教員が日本各地に赴いて、子どもたちにレッスンをを行います。

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」は、音楽家を目指そうという子どもたちの夢を応援することを目的に2014年度に始まりました。全国のホールや自治体、さまざまな団体の皆さまに支えられ、また2018年度からは全日本空輸株式会社様からのご支援もいただいて、本学の教員が全国各地を訪れています。11期目となる2024年度は9都市での開催を予定しています。少子化や経済的理由による芸術家の道を歩む若者が減少し、しかもかなり早い段階で夢を断念してしまうという状況は簡単には変わるものではありません。しかし各地で子どもたちの瑞々しい感性とスポンジのような吸収力、来場した皆さまの音楽への熱量に触れるたびに、互いに刺激し合い音楽を深めることの意義を感じています。このプロジェクトが一つのきっかけとなって、夢へ向かう気持ちや音楽することの喜びが地域にいつそう広がることを心から願っています。

東京藝術大学音楽学部長 杉本 和寛



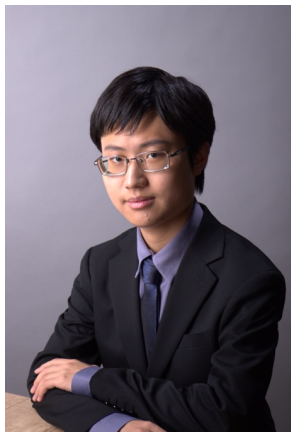
©Akira Muto

講師

いとう けい

伊藤 恵

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。エピナール国際コンクール、J.S.バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールと数々のコンクールに入賞。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響（現hr響）、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本では「若い芽のコンサート」でN響との共演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍を続けている。CDの代表作は、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアーナ1～13」。2007年秋には全集完成記念コンサートを行った。さらに、2008年にリリースを開始した「シューベルト ピアノ作品集1～6」は1作ごとに注目を集め、第6集は2015年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。2018年にリリースされた「ベートーヴェン ピアノ作品集1」、最新盤の「ベートーヴェン ピアノ作品集2」（フォンテック）は、いずれもレコード芸術特選盤を獲得。また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本をはじめ武生国際音楽祭、軽井沢音楽祭、リゾナーレ音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに参加。1999年から2006年までの8年シリーズではシューマンを、2008年から2015年4月までの新たな8年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催し好評を博した。2018年からはベートーヴェンを中心としたシリーズを開始。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。2018年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。



藝大生による演奏

ほんどう しゅんや

本堂 竣哉

北海道北見市生まれ。5歳のとき、グレン・グールドのJ.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲に衝撃を受け、以来バッハの音楽に魅了され続けている。2022年5月、第9回野島稔・よこすかピアノコンクール本選にてゴルトベルク変奏曲を演奏、第1位を獲得。2022年6月3日にすみだトリフォニーホール大ホールにて行われた、KAJIMOTO主催マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）&辻彩奈（ヴァイオリン）公開ワークショップをヴァイオリンとピアノのデュオで受講、アルゲリッチより絶賛を受ける。2024年2月、紀尾井ホール『明日への扉』シリーズに出演。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻4年在学中。現在ピアノを伊藤恵、大平由美子の各氏に師事。